

# 令和3年度 単位PTA会長会

(市P連 研修・広報部会長 細川)

11月16日(火)に、倉敷市PTA連合会の単位PTA会長会が、ライフパーク倉敷にて開催されました。

今年度は、コロナ禍の影響で市P連の行事も、軒並み中止や延期が続いておりましたが、緊急事態宣言及びまん延防止措置等の解除に伴い、開催させていただく運びとなりました。

当日は、研修・広報部会を中心に、9:00にライフパークに集合し、会場準備にあたりました。2年越しの開催とあって、前回の単P会長会の、記憶も忘れかけておりましたが、皆様のご協力と事務局のご尽力もあって、大変スムーズに準備できたと思います。

ただ、会場が手狭だったので回りの声にかき消され、マスクを付けての会話では、相手の話が聞き取りにくかった点は、来年に向けての反省点とさせていただきます。

## 幼稚園(10:00~11:30 中ホール)



平日の開催でお忙しいとは思いましたが、48名の方にご参加いただきました。うち、男性の方も18名おられて、男女差のない有意義な会となりました。

まず、市幼・こPの佐藤会長より「この機会に、しっかり情報交換を!」と、ご挨拶をいただきました。

グループ協議は、9つのグループに分かれて、まずはアイスブレイクという、お互いのPTA活動に対する熱量や思いを、グループ内に伝えて頂く協議からスタートしました。各グループ、初対面とは思えない活発な議論を展開されておられました。

その後、本番の協議が行われました。テーマは「PTA活動の意義について」。40分~50分程度の時間でしたが、各グループとも、司会担当の市P連役員を中心に、大変、話が盛り上がっていました。各園の地域性や時代に合わせた取り組みなどを聞き、とても興味深く、各自の家庭環境や世代も違う中で、女性目線のご意見、男性の仕事しながらPTA活動にかかわるお気持ちや、コロナ禍で制限されながらの幼稚園活動についてなど、ざっくばらんなご意見を聞くことが出来ました。ご参加いただいた会長様は、皆様PTA活動に対して大変前向きだなと思いました。

最後に、閉会の挨拶を市幼・こP平松副会長よりいただき、幼稚園の部は無事終了いたしました。

## 小学校（14:00～15:30 中ホール）

小学校の部は39名にご参加いただき、9つのグループに分けてスタートしました。

市P連顧問小田さんの流暢な司会とともに、私、細川がご挨拶させていただきました。流れは幼稚園と同様で、アイスブレイクで、各グループの司会の皆様が、普段の会長様の気持ちや悩みを明るく引き出してくれました。

グループ協議のテーマは、①「コロナ禍でのPTA運営について」、②「PTA活動の意義について」でした。小学校の部も活発な議論を展開していただきました。やはり、コロナ禍で役員同士の交流が出来ないとか、各小学校の地域性や規模の違いで、その学校独自の取り組みがあり、興味深く聞き入られておられたように思いました。他校のお話はPTA運営におかれても、大変、参考になったのではないかと思います。

最後に、市P連藤原会長の閉会挨拶で終了させていただきました。



## 中学校（14:00～15:30 視聴覚ホール）



中学校の部は23名の方にご参加いただき、6つのグループに分けさせていただきました。

市P連役員総谷さんの司会で会が始まり、市P連藤原会長が開会の挨拶をしました。地域も生徒数も違う中学校をランダムに分けさせていただきましたので、いろいろな意見を聞かせていただき、とても参考になりました。

1グループあたり3～4名で構成させていただきましたが、さすが中学校のPTA会長様ともなりますと、年齢層も経験値も幅広く、皆様、苦も無く発言されておられました。流れは同様に、アイスブレイクからグループディスカッションに進んでいただきました。テーマは小学校と同じで、コロナ禍でのPTAの運営では、各校とも活動は中止か延期という所が多かったように思います。ただ、その窮屈な中でもやれる事はやろうと前向きなご意見も大変多かったです。私のグループでは、テーマにはない役員選出の件であるとか、卒業制作に関するご意見なども発言いただき、時間が足りないほどでした。

最後に市P連江越副会長が開会の挨拶をして、終了いたしました。

事後アンケートはQRコードからスマートフォンでご回答いただきました。ご回答くださった皆様、ありがとうございました。各グループでのまとめは、冊子にして送付いたしましたのでご覧ください。ご多忙のおりのご参加、本当にありがとうございました。

最後に、準備・司会等、市P連役員の皆様、お疲れさまでした。お世話になりました。